

「今日も健康に」

神村学園初等部五年

おちあい
落合
りゅうせい
琉惺

ぼくにとって健康であることは、とても大切なことです。なぜかというところ、ぼくはすでに、一型とうによる病という病気だからです。とうによる病には、一型と二型があります。生活習慣の二型とはことなり、一型とうによる病は、子どもやわかい人に多いです。その原因は分からず、一生注射を打ちながら付き合っていないといけない病気です。

ぼくは、この持病があるので、これ以上悪くならないように気をつけています。他の病気にいかかってしまうと、とても体調が悪くなってしまうからです。

だからぼくは、食べ物の好ききらいをしないで、すいみんをしつかりとります。体を動かすことも大好きで、昼休みに友だちとおにごっこをすることが楽しみです。空手やスイミングも習っています。これまでの四年間、学校を休んだことは、一度もありません。毎日元気に学校に通っています。

実は、ぼくにとって病気であることは、大変だったり、いやだったりすることばかりではありません。それは、友だちのやさしさに気付くことができたからです。血とう値を測る時、「ピピピッ。」と高い音が教室にひびきます。でも、だれもふり向きません。だけど、ぼくがうっかり測りわすれていてアラームが鳴ってしまった時は、

「琉惺君、アラームが鳴ってるよ。」
と、ぼくに教えてくれます。

ぼくが低血とうで気分が悪くなった時は、「だいじょうぶ。休けいしようか。」

と、声をかけてくれます。でも、ぼくがほ食をする時は、ぼくの方を見たり、「うらやましい。」と言ってきたりしません。

ぼくは、給食の前に保健室へ行って、注射をします。だから、給食当番におくれてしまいません。同じ当番の友だちは、ぼくの方ま

で当番の仕事をフォローしてくれます。保健室で注射をするのは、注射をするすがたをみんなに見られない方がいいかなと思うからです。でもたまたま友だちが保健室に来て、ぼくが注射をするすがたを見たこ

とがあります。その時、友だちは、「かっこいいね。」
と、言ってくれました。ぼくはうれしくなりました。

みんなが、ぼくのことを特別あつかいしないで、自然に接してくれることが、とてもうれしいです。

体が健康であることは、とても大切です。病気があるからこそ、ぼくは健康でいようと思っています。そして、みんながやさしくふつうに接してくれて、毎日楽しく学校で過ごすことができているから、心も毎日元気で健康です。だから、ぼくは、むねを張って言えます。

ぼくには、病気があります。でも、今日も健康に過ごしています。